

## 平成26年度 沖縄地方ダム管理フォローアップ委員会 議事要旨

1. 日時：①平成27年1月20日（火）11:00～12:00  
②平成27年2月10日（火）13:00～18:00
2. 場所：那覇第2地方合同庁舎2号館2階 災害対策室
3. 出席：上原委員長、金城委員、諸喜田委員、立原委員、津嘉山委員、目島委員、盛下委員  
（欠席：大城委員）※①及び②とも出欠者同じ。
4. 議事
  - ①：1) 「大保ダムモニタリング部会最終報告」について
  - ②：1) 「福地ダム・新川ダム定期報告書（案）」について  
2) 「大保ダム・定期報告書（案）」について  
3) 「大保ダム事後評価（案）」について  
4) 「金武ダムモニタリング部会中間報告」について
5. 主な意見
  - (1) 大保ダムモニタリング部会最終報告について
    - 本編
      - ・平成25年度にリュウキュウアユが確認されている。上流側ではこれまでも確認されているが、下流側では初確認となる。現地での調査方法を確認しておくこと。
    - 水質
      - ・塩屋湾の水質への影響については、大工又川を含めて監視することが望ましい。
    - 水源地動態
      - ・学習の川は、県外の修学旅行生などに魅力的であり、今後の活用が望まれる。
  - (2) 福地ダム・新川ダム・大保ダムの定期報告書（案）について
    - 堆砂
      - ・堆砂量の把握については、貯水池内の堆積箇所を確認しておくこと。
    - 水質
      - ・福地ダムと新川ダムは、貯水池特性や、流域からの負荷が異なるため、ダム管理にあたっては、留意してほしい。
    - 生物
      - ・魚類の出現リストには、河川水辺の国勢調査以外の各種調査が含まれているため、調査努力量が異なる旨、注記すること。
      - ・福地ダムと新川ダムでは回遊性の種（オオウナギ、ボウズハゼ、テナガエビ類、ヌマエビ類）がダム湖の上流で確認されている。今後更なる生息域の拡大が予想され、好ましい変化である。
      - ・沖縄北部東側の水域には、今のところブラックバスは持ち込まれていないが、啓発活動などの地域における取り組みが重要であると考えられる。
  - (3) 大保ダム事後評価（案）について
    - 共通
      - ・表中の表現に「○割」と「○%」が混在するため、表現を統一すること。
    - 審議結果
      - ・大保ダム建設事業の事後評価（案）については、今後の事後評価及び改善措置の必要性はない旨、了承された。
  - (4) 金武ダムモニタリング部会中間報告について  
平成25年度モニタリング調査結果の報告と今後のモニタリング調査計画について報告。
    - ・特に無し。